令和７年用きゅうり病害虫防除基準

発　行：ＪＡさがえ西村山
さがえ西村山野菜振興協議会

※殺虫剤を散布する場合は、訪花昆虫に対する薬剤ごとの安全使用基準を徹底する。

【害虫防除】

作業	RACコード	薬剤名	使用方法 倍率	散布量(10a)	使用時期 収穫前日数	使用回数	アザミウマ類	アブラムシ類	コナジラミ類	ハモグリバエ類	ウリノメイガ	ウリハムシ	ハダニ類	注意事項
定植前	１Ｂ	ネマキック粒剤	15～20kg／10a	全面土壌混和	定植前	１回								●登録：ネコブセンチュウ
定植時	28	ベリマークＳＣ	400株当たり25㎖	400株当たり 10～20ℓ 灌注（１株当たり25~50㎖）	育苗期後半～定植当日	１回	●	●	●	●				
	４Ａ	ダントツ粒剤	２g／株	植穴処理土壌混和	定植時	１回	ミナミキイロ●	●	●					※クロチアニジンを含む（ダントツ）４回以内（育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計１回以内、散布及び定植後の株元散布は合計３回以内）
生育期	４Ａ	ダントツ水溶剤	2,000倍	100～300ℓ	前日まで	３回以内	ミナミキイロ●	●	●					●登録：カメムシ類
	４Ａ	モスピラン顆粒水溶剤㊧	2,000倍	100～300ℓ	前日まで	３回以内	●	●	●		●			※抵抗性害虫出現防止のため連用を避ける。（ダントツ、モスピラン、スタークル）
			4,000倍	100～300ℓ								●		
	４Ａ	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	100～300ℓ	前日まで	２回以内	●	●	●			●		●登録：カメムシ類
	４Ｃ	トランスフォームフロアブル	2,000倍	100～300ℓ	前日まで	２回以内		●	●					
	９Ｂ	コルト顆粒水和剤	4,000倍	100～300ℓ	前日まで	３回以内		●	●					
	29	ウララＤＦ	2,000倍	100～300ℓ	前日まで	３回以内		●	●					
	39 21Ａ	ハチハチ乳剤㊧	1,000倍	100～300ℓ	前日まで	２回以内	●	●	●					
	5	ディアナＳＣ	2,500倍	100～300ℓ	前日まで	２回以内	●		●	●	●			
	28	ヨーバルフロアブル	2,500倍	100～300ℓ	前日まで	３回以内	●	●	●	●	●	●		●登録：ハスモンヨトウ
	13	コテツフロアブル㊧	2,000倍	100～300ℓ	前日まで	３回以内	ミナミ・ミカン●				●	●	●	
	30	グレーシア乳剤	2,000倍	100～300ℓ	前日まで	２回以内	●		●	●	●		●	●登録：ハスモンヨトウ
	6	コロマイト乳剤	1,000倍	100～300ℓ	前日まで	２回以内			●	●			●	●登録：チャノホコリダニ
	20Ｂ	カネマイトフロアブル	1,000倍	150～300	前日まで	１回							●	
	25Ａ	スターマイトフロアブル	2,000倍	100～300ℓ	前日まで	１回							●	
	未分類	エコピタ液剤	100倍	100～300ℓ	前日まで	—		●	●				●	●登録：うどんこ病 ※単用散布する。

病害防除【殺菌剤】

作業	RACコード	薬剤名	使用方法 倍率	散布量(10a)	使用時期 収穫前日数	使用回数	べと病	炭疽病	褐斑病	黒星病	菌核病	つる枯病	うどんこ病	灰色かび病	注意事項
育苗期	Ｍ４	オーソサイド水和剤80	800倍	２Ｌ／㎡ 灌注	は種後２～３葉期まで	５回以内									●登録：苗立枯病
生育期			600倍	100～300ℓ	前日まで		●	●	●			●			※キャプタンを含む（オーソサイド）総使用回数は５回以内（種子粉衣は１回以内）
生育期	24 Ｍ１	カスミンボルドー	1,000倍	100～300ℓ	前日まで	５回以内	●						●		●登録：斑点細菌病 ※散布する時は薬害軽減のため必ずクレフノン100～200倍を加用するとともに、幼苗期、高温時、収穫間際の散布は避ける。
	Ｍ３ ＵＮ	ジマンダイセン水和剤	600倍	100～300ℓ	前日まで	３回以内	●	●	●	●		●			●登録：斑点細菌病、疫病
	3 Ｍ３ ＵＮ	テーク水和剤	600倍	100～300ℓ	前日まで	３回以内	●	●	●				●	●	※マンゼブを含む（ジマンダイセン、テーク）総使用回数は３回以内 ※耐性菌出現防止のため連用を避ける。
	Ｍ５	ダコニール1000	1,000倍	100～300ℓ	前日まで	12回以内	●	●	●	●			●	●	※ＴＰＮを含む（ダコニール、プロポーズ）総使用回数は14回以内（土壌灌注は２回以内、散布、常温煙霧、くん煙及びエアゾル剤の噴射は合計12回以内） ※耐性菌出現防止のため連用を避ける。
	Ｍ５ 40	プロポーズ顆粒水和剤	1,000倍	100～300ℓ	前日まで	３回以内	●		●	●			●		
	Ｍ７	ベルクートフロアブル	2,000倍	100～300ℓ	前日まで	７回以内		●	●	●	●		●	●	※イミノクタジンアルベシル酸塩を含む（ダイアメリット、ベルクート）総使用回数は７回以内 ※耐性菌出現防止のため連用を避ける。
	Ｍ７ 19	ダイアメリットＤＦ	1,000倍	100～300ℓ	前日まで	２回以内		●	●		●		●	●	
	10 1	ゲッター水和剤	1,500倍	100～300ℓ	前日まで	５回以内		●	●		●			●	※チオファネートメチルを含む（トップジンＭ、ゲッター）総使用回数は６回以内（種子への処理は１回以内、は種後は５回以内） ※耐性菌出現防止のため連用を避ける。
	7	アフェットフロアブル	2,000倍	100～300ℓ	前日まで	３回以内					●		●	●	
	9	フルピカフロアブル	2,000倍	100～300ℓ	前日まで	４回以内			●				●	●	
	11	ストロビーフロアブル	3,000倍	100～300ℓ	前日まで	３回以内	●	●	●				●		※浸透性を高める効果のある展着剤を混用すると薬害を生じる場合がある。 ※【ストロビルリン系】耐性菌出現防止のため総使用回数は２回以内とする。
	21	ランマンフロアブル	1,000倍	150～300ℓ	前日まで	４回以内	●								※耐性菌出現防止のため連用を避ける。
	21 49	ゾーベックエンテクタＳＥ	4,000倍	100～300ℓ	前日まで	２回以内	●								
	45 40	ザンプロDMフロアブル	1,500倍	100～300ℓ	前日まで	３回以内	●								